

寺野のひよんどりの開催について

国指定重要無形民俗文化財「寺野のひよんどり」が開催されます。2025 年から保存会の若者がオリジナルグッズを製作し、今回も販売予定です。ぜひ取材いただきますよう、お願いいたします。

記

寺野のひよんどり

- 1 日 時 2026 年 1 月 3 日（土）午後 2 時頃～
- 2 場 所 宝蔵寺観音堂（浜松市浜名区引佐町洪川 877）
- 3 主 催 寺野伝承保存会

【寺野のひよんどりについて】

観音堂における修正会（しゅうしょうえ＝中世に各地で隆盛した寺院の正月行事）の余興として行われた芸能が起源と伝わります。戦国時代に寺野地区を開拓した伊藤刑部祐雄（ぎょうぶすけかつ）が三河から来て、16 世紀末には始められていたといえます。



最初は地主神（ガラン様）の祭りが行われ、現在は御神楽と万歳楽（まんざいらく）を第一番に、第十三番まで舞が続きます。寺野の舞は「五方に舞う」のが特徴で、正面二回を含め右左右と回転するのが基本になっています。特に勇壮なのが「鬼の舞」で、三匹の鬼が激しく舞いながら松明の火を乱打させます。

ひよんどりは「火踊り」がなまったものといわれています。

1994 年（平成 6）に、川名のひよんどり、懷山のおくないと共に「遠江のひよんどりとおくない」として国指定重要無形民俗文化財の指定を受けました。

【オリジナルグッズの制作、販売について】

2025 年から保存会の若者がオリジナルグッズを製作し、今回も販売予定です。寺野のひよんどりで使用されるお面は、江戸時代から大切に伝えられてきました。3D プリンターによる計測で実際の形状が忠実に再現されています。ぜひ現地でお手に取って御覧ください。

- ・お面根付（赤鬼 太郎、黒鬼 次郎、青鬼 三郎）
- ・クリアファイル